

事務事業名		介護納付金支払事務				評価区分(事前評価・事後評価)			事後評価(A・B表)	
政策体系	基本目標	2 やさしくふれあいのある健康福祉づくり				担当組織	担当部	健康医療部	担当課	医療保険課
	政策	3 助け合い生きがいを実感できるまちづくり				担当係	国保係	担当課長名	落合 眞	
	施策	3 地域福祉の推進と生活保障の充実				新規事業・継続事業		継続事業		
	基本事業	2 国民健康保険制度の適正運営の推進				実施計画事業・一般事業		一般事業		
予算科目	短縮コード	会計	款	項	目	予算細事業名				
	16670	国保(事業)	6	1	1	介護納付金				
	事業区分	市単独事業・国県補助事業		国県補助事業			任意的事業・義務的事業		義務的事業	
事業計画	単年度繰り返し	事業期間	平成12年度～ 年度		根拠法令 条例等	国民健康保険法、介護保険法		実施方法		
								直営		
								事業分類		
							リーディングプロジェクト		該当なし	
							市長マニフェスト		該当なし	

1. 事務事業の現状把握【DO】

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

① 手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)											
事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)					平成26年度実績(平成26年度に行った主な活動内容)						
介護保険法に基づき、40歳以上65歳未満の被保険者(第2号被保険者)に係る介護納付金分国民健康保険税を原資として、介護保険事業に必要な費用を介護納付金として社会保険診療報酬支払基金に拠出します。					左記に同じです。						
					活動指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)
					4月1日現在 40歳以上65歳未満の人口	人	42,910	42,366	41,689		
② 対象(この事務事業は誰・何を対象としていますか?)											
国民健康保険被保険者のうち介護保険第2号被保険者					対象指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)
					第2号被保険者数(年度平均)	人	14,185	13,353	12,600		
目的											
③ 意図(この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?)					成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)
福祉と医療の連携強化を図りつつ、国民健康保険の適正な運営に資する。					1人当り納付金額	円	61,634	65,412	73,519		
④ 結果(どのような結果に結びつきますか?)											
国民健康保険制度が適正に運営され、安心して医療を受けられる。					上位成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)
					国保税収納率	%	91.6	92.6	91.6		
					1人当たりの医療費の伸び率	%	3.7	1.5	2.8		

(2) 総事業費の推移・内訳

事業費 投入量	財源内訳	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)	
	国庫支出金	千円	349,819	345,804	360,204			
	県支出金	千円	65,375	64,810	74,108			
	地方債	千円						
	その他	千円	48,035	52,556	52,556			
	一般財源	千円	4,884	2,446	347			
	事業費計(A)	千円	406,172	407,829	439,130			
		千円	874,285	873,445	926,345	0	0	
	事業費の内訳	千円	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
			負担金	874,285	負担金	873,445	負担金	926,345
	人件費	人	1	1	1			
	のべ業務時間	時間	12	12	12			
人件費計(B)	千円	47	47	47	0	0		
トータルコスト(A)+(B)	千円	874,332	873,492	926,392	0	0		

事務事業名	介護納付金支払事務	担当部	健康医療部	担当課	医療保険課	担当係	国保係
-------	-----------	-----	-------	-----	-------	-----	-----

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	平成12年4月、介護保険制度の実施にともない事業が開始されました。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・県などの法令等、社会情勢など)は事務事業の開始時期や合併前と比べてどのように変化していますか？	介護費用の増加により、拠出額が増える傾向にあります。
③この事務事業に対して、関係者(市民、議会、事務事業対象者)からどのような意見・要望がありますか？	40歳以上65歳未満の被保険者が納付の義務を負いますが、家計の支出が多い世代のため、保険料が負担となるとの声寄せられており、医療給付費分、後期高齢者支援金分に比べて、収納率が低いという結果にも表れています。

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
現状維持	現状維持により対象外です。

2. 事務事業の事後評価【Check】

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか？	
	結びついている	理由・改善案 福祉と医療の連携強化、被保険者によるサービスの選択、居宅での生活支援を図ることを目的とし、国民健康保険制度の適正運営にも結び付いています。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事務事業を市が行わなければならないのですか？ 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか？	
	市が行わなければならない	理由・改善案 介護保険法第150条第2項に「医療保険者は、納付金の納付に充てるため医療保険各法又は地方税法の規定により保険料若しくは掛金又は国民健康保険税を徴収し、納付金を納付する義務を負う。」とあり、市が行わなければならない。
	③対象・意図の妥当性 事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか？	
	妥当である	理由・改善案 対象と意図は法令に基づいており、妥当です。
有効性 評価	④事務事業の成果向上余地 事務事業の成果は出ていますか？ 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか？	
	成果向上余地がない	理由・改善案 法令で定められた拠出金の納付を行うもので、成果を問うものではありません。
	⑤類似事務事業との統合・連携の可能性 類似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか？ ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか？	
	類似事務事業はない	理由・改善案 類似事務事業名
	*類似事務事業があれば、名称を記入	
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 事務事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか？	
	削減の余地はない	理由・改善案 介護保険法第8章第3節(第150条から第159条)に規定する納付額に基づいており、裁量の余地がありません。
公平性 評価	⑦受益者負担の適正化余地 この事務事業の受益者は誰ですか？事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか？	
	現在の受益者負担を見直す必要がある	理由・改善案 介護費用の増加により、納付額が増える傾向にあり、第2号被保険者に係る保険税率を見直す必要もあるかと思われます。
総合 評価	⑧本事業の休止・終了条件(本事業はどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか？)	
	法定事務のため、国民健康保険制度を市が運営する限り、廃止できません。	

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1) 今後の事務事業の方向性	(2) 改革・改善による期待効果	(3) 改革・改善を実現するうえで解決すべき課題(壁)とその解決策																							
現状維持(従来通り実施)	廃止・休止の場合は、記入不要 ×の領域は改革改善ではない。																								
* 評価結果に基づいた改革改善案を記入します。 (複数ある場合は、①②・・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。)	<table border="1"> <tr> <td colspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持		○	×	低下		×	×	
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上																								
	維持		○	×																					
	低下		×	×																					